

埼玉県北本市の

暮らしと場の習慣を観光にする

活動記録集

# まちの森

vol.6

雑木林が大好きな人。

TAKE FREE

北本市にはいくつもの雑木林があります。

住宅地のすぐそばにあり、駅から歩いていける距離にある、自然。

ちょっと散歩すると、すごく気持ちがよくなる、おすすめの場所です。

この豊かな緑は、

ただ自然と何もせずに保たれているわけではなく、

この場所を愛し、守る活動を続けている「ひと」がいることで成り立っています。

お話を進む程、会員の方ぞれぞれの雑木林に対する想いが結びつき、この場所がずっと守られてきたんだということが、ひしひしと伝わってきました。

そして、なんといつても皆さん、楽しそう！見てるこっちが嬉しくなってしまうような、いい笑顔をしていらっしゃるのです。

北本市内の雑木林の管理や、雑木林での「遊び」を伝える活動を二十年以上に亘りおこなっている、NPO法人北本雑木林の会（以下、雑木林の会）。

その活動は、だれかに強制されるものではなく、すごくその場所が好きだという想いがあつてこそ、続いているものなのではないかと思います。雑木林の魅力を語るとき、生息する珍しい生物や、ゆったり流れる時間についてなど、いろいろな切り口が考えられました。ですが、今回の取材では敢えて、そこに関わる人々の想いや、人柄を中心にご紹介できればと考え、雑木林の会内で最近結成されたという『女子部』の皆さんにお話を伺いました。

## 楽しくてたまらない 草刈りの魅力

2014年に発足したという雑木林の会、女子部。会に入ったきっかけについてのエピソードからはじまり、広報アイディアなどのクリエイティブな話題まで、ちょっとびっくりじゅうぐらい、様々なお話を伺うことができました。その中からもう少しだけエピソードをご紹介。(文字が小さくてごめんなさい。)

○女子部の活動は、夏の間は朝6時から集まって草刈りしたり。あとは、宴会と研修(という名の旅行)ね!

○今ね、女子部がすごくうまくいってるの。女子だけでいろいろ交渉に行って成功したりね。あとは、結構雑木林の会の人は個性的な人が多いから(笑)内緒なんだけど、メンバー同士の仲がこじれそうになったら、こっそり取り持ったり・・・そーっとさりげなくね。

○雑木林のことを知らない人もまだたくさんいるから、広報誌をつくろうっていうアイディアを女子部で出したの。いまプレ創刊号をつくってるので!

○女子部のユニフォームをつくりたいね! Tシャツとか、ちょっとつけられる小物とか。ウインドブレーカーもいいかも!女子だけだと、とにかく決まるのもやるのも早いの!

もう、本当に楽しそう!その上、行動力抜群!気になるキーワードがたくさんあって、時間が過ぎるのがあつという間でした。また、今回20代半ばの女性スタッフが取材を担当したのですが、独身だとわかるやいなや「うちは人の人余ってるわよ!」「草刈り婚活っていいんじゃない?」という声も。婚活企画、ぜひ、お願ひしたいです…。

「私はね、引っ越してきいたら駐車場の前が雑木林で、もう一目惚れ!それからずっと、熱が冷めないの。ほんとにね、景色ごと家を買ったと思ったの。そしたらまたまた近くに住む雑木林の会の人に誘われて、一瞬も迷わず二つ返事で決めたの。それが私が入ったきっかけ。」(Oさん)

**雑木林の会に入つたきっかけ**  
**景色ごと家を買つた**

「私はね、引っ越してきいたら駐車場の前が雑木林で、もう一目惚れ!それからずっと、熱が冷めないの。ほんとにね、景色ごと家を買ったと思ったの。そしたらまたまた近くに住む雑木林の会の人に誘われて、一瞬も迷わず二つ返事で決めたの。それが私が入ったきっかけ。」(Oさん)

「ぱりぱりぱりーってやつたら、草がひやあつて一瞬の内になくなるのが気持ちいいの。ぱつと振り返ると、自分のやつてきたところが目に見える。ああ、ここ私が刈つたんだ!って思つて。すっごい楽しい。私ね、具合が悪くとも、雑木林の会の活動に行きたくないなつて思ったこと、一回もないの。」(Oさん・Hさん)

毎回、終了時間になつても作業が止まらないという、草刈りが大好きな姉妹のお二人。「とにかく草刈りが、楽しい!あとその時のおやつの時間が、楽しい!どれも、ここでしかできないの。」

「ぱりぱりぱりーってやつたら、草がひやあつて一瞬の内になくなるのが気持ちいいの。ぱつと振り返ると、自分のやつてきたところが目に見える。ああ、ここ私が刈つたんだ!って思つて。すっごい楽しい。私ね、具合が悪くとも、雑木林の会の活動に行きたくないなつて思ったこと、一回もないの。」(Oさん・Hさん)

今回取材してわかつたことは、皆さん本当に楽しんで活動を行なっているということはもちろん、雑木林の魅力を、北本のまち全体の一部として俯瞰して捉えていらっしゃること。

「北本の歌にも載ってるよね、雑木林って。北本音頭。何回か聴いて、えーっ、歌にあるんだ!って思つて。都はるみさんが歌つてるの。雑木林って、こんなに有名なんだ!ってびっくりしたの。」(Mさん)

「管理する雑木林を増やして、つなげて、緑の回廊をつくりたい。全部緑の下を歩いていける空間にしたら、自然と質のいいお店やギャラリーができるんじやないかなと思うの。北本II緑つていう魅力を活かしたまちづくりをしていけたらなって。」(Sさん)

そして、これが妄想で終わらないのが雑木林の会のすごいところ。まだまだ市内に点在する、いつ売却されてなくなつてしまつてもおかしくない雑木林の管理交渉などを、精力的に進めているそうです。

## 北本音頭で雑木林を知る 雑木林と共に、北本の未来を描く

確かに活動内容を話すといろいろあるかもしれないけど、

雑木林が好きとか、気になるって思ってる人が集まるだけで嬉しいんだから、とりあえずお茶を飲みにだけでもいらっしゃいよ、と話す女子部の皆さん。

雑木林に、ふらりと遊びにいってみませんか。

NPO法人北本雑木林の会について、活動スケジュールなど詳しくは公式サイトをご覧ください。  
[www2.tba.t-com.ne.jp/zoukibayashi/](http://www2.tba.t-com.ne.jp/zoukibayashi/)